Palau

Peru

Philippines

Republic of Korea

Spain

Thailand

Tonga

United States of America

Vanuatu

Venezuela

Viet Nam

Japan

和歌山県立日高高等学校
SGH通信
第13号

２０１８年１１月１６日

Argentina

Brunei Darusalam

Chile

Comoros

Denmark

Indonesia

Kiribati

Malaysia

Maldives

Marshall Islands

Micronesia

Myanmar

New Zealand

約1600人が参加
地域合同避難訓練・防災スクール vol.4

タイムテーブル

9:45	「世界津波の日」2018高校生サミットin和歌山参加海外生徒が各クラスに合流
10:30	地震避難訓練
10:50	津波避難訓練
11:15	防災スクール
12:45	昼食交流（FM防災実験局、※一部英語）
13:30	フィールドワーク（道成寺、美浜町松原地区津波避難場所）

防災スクール

２学年《海外生徒とともに、ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ設営、煙体験、消火訓練、搬送法・応急手当の実施》

災害時にけがをしたときの対処や搬送法などを、実践の中で学ぶことができた。しかし、本当に地震が起きたとき、今回学んだ道具が全てそろっているとは限らない。学んだことから更に考え、発展させて、どんな状況にでも対応していけるようにすべきだと思った。事前学習では自助と共助が重要だと知ったので、自分や周りの人を少しでも救うために、今回学んだことを活用していきたい。

２年４組　木坊子裕葉

一番、コミュニケーションを取れたのが防災スクールだと思います。会話したり、説明したりしながら、どのようにすれば上手く伝わるかを工夫しました。「この単語がわからない」「文法が分からない」という状況も多く、大変な場面もありましたが、それが刺激となって、もっと英語を話せるようになりたいと思うようになりました。

地震の多いインドネシアやチリの人にも積極的に声をかけました。チリの方から、大地震の話を聞かせてもらえました。終わった後はとても達成感があって、コミュニケーション力と英語力の大切さを改めて感じました。

２年３組　塩崎優衣

搬送法・応急手当

パーティション設営